

**「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
令和元年度事業 点検・評価調書**

5-I-6

5-I-6

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり		取組項目	児童・生徒への取組
	節	I. 佐渡金銀山のブランドイメージの確立		
事業(施策)名	6 佐渡市佐渡金銀山出前授業		事業主体	佐渡市世界遺産推進課
			関連団体	佐渡を世界遺産にする会
事業実施期間	H28～R4			
事業概要	【事業目的】 ○島内の児童・生徒へ佐渡金銀山の正しい理解と関連文化・産業とのつながりを分かりやすく紹介し、地元への関心を高め、郷土愛の醸成を図る。			
	【事業内容】 ○島内小・中・高校生を対象に、佐渡金銀山に関する授業を継続的に開催する。			
元事業計画と実績	【元年度計画】 ●市内において、出前授業を実施する。(小中学校:目標10校)			
	【元年度実績】 ●市内において、出前授業を実施した。(小中学校:6校) なお、出前授業を利用していない小中学校においても、きらりうむ佐渡を訪問し、佐渡金銀山に関する学習を行った。(13校)			
課題・今後の取組	【課題】 ■「きらりうむ佐渡」と出前授業の活用を含め、現場の先生への周知が必要である。			
	【今後の取組】 ■小・中・高等学校長会の場などで、「きらりうむ佐渡」と出前授業の活用を促す。			
事業評価	【事業の達成度】 [ a ○ b · c ]			
	◇出前授業及びきらりうむ佐渡の利用により、島内学生の佐渡金銀山の学習機会を提供することができている。 順調に事業が進んでいることからB評価とした。			
	【事業実施の効果】 [ a ○ b · c ]			
	【総合評価】 [ A ○ B · C ]			

a: 進んでいる。高い。  
b: 概ね順調。概ね適切。  
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。  
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。  
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。